



指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

『青空の下、キミのとなり』



校長 おおこうち のりかず 大河内 範一

私の小学生初期のあだ名は『おっこった』だった。苗字の響きから来たものだが、呼ばれていて違和感はなかった。2歳年下の妹は『おっこち』と呼ばれていた。こちら命名の理由は同様で、兄妹ともに落下系のあだ名であったのだが、特に気にすることなく、むしろ珍しくいいネーミングだと思っていた。

先日のニュースで、クラスメートをあだ名で呼んだり、呼び捨てにしたりせずに、「さん付け」するように指導する学校が増えているというものがあった。身体的特徴をからかうあだ名が付く場合があり、その本人が不愉快に感じるだけでなく、いじめにつながるケースがあるという理由である。ただし、「さん付け」は円滑なコミュニケーションを阻むおそれもあり、「さん付けを求める場合は、きちんと理由を説明してあげてほしい」という有識者の指摘も付け加えてあった。

また、「あだ名にはプラスとマイナスの両面がある。相手をどう呼ぶかは、相手がどう受け止めるのかに尽きる」ということ、そして「呼び方一つで相手を不快にさせることもある。さん付けもあだ名も大切なのは相手への敬意。学校現場では、相手を尊重することの大切さを教えてほしい」と、まとめられてあった。

芸能界に目を向けてみると、あだ名っぽい芸名や呼称が増えていると感じる。「あいみょん」「みちょぱ」「ゆきぽよ」などなど。「きゃりーぱみゅぱみゅ」は、ちょっと違うか・・・) これらは、本人の名前から来ているものだし、親しみも感じられる。やはり、「悪意」がなく「敬意」や「好意」があれば、問題は起こらないのかもしれない。今回のあだ名の件については継続的に考えていきたい。

先月は「いじめ撲滅強化月間」であった。本校でも様々な取組を行っていたが、いじめはどの学校にも、どの子にも起こり得るものであり、皆さんは「自分事」として考えることができているだろうか。「弱い者をいじめることは、人間として絶対に許されない」という強い認識をもつことが重要である。そして、誰一人取り残すことなく、生徒全員が楽しく学び、生き生きとした生活を送ることができる学校や地域になってくれることを強く願う。

困ったことがあったら誰かに相談しよう。キミのことを真剣に考えてくれる人は必ず存在する。もしも、相談する人が思い浮かばずに悩んでしまったら・・・、そんな時は、校長の私が相手になるので遠慮なく来てくださいね。キミのとなりに座るから、美しい青空でも眺めながらゆっくりと話をしましょう。